

ダンボールスマートボール 組立説明書

⚠ 注意 組み立ての前にお読み下さい

- 組み立て時には手など切らないよう十分に気をつけてください。
- 火または水に絶対近づけないで下さい。
- 極端な高温・低温または、高温低温などの環境下で使用すると急速に劣化する恐れがあります。
- 組み立ては確実に行って下さい。組み立てがしっかりと行われていないと、トラブルの原因となる可能性があります。

本製品はインストラクター役を設けて、参加者に組み立ての指導を行うことを前提としたワークショップ向けの製品です。

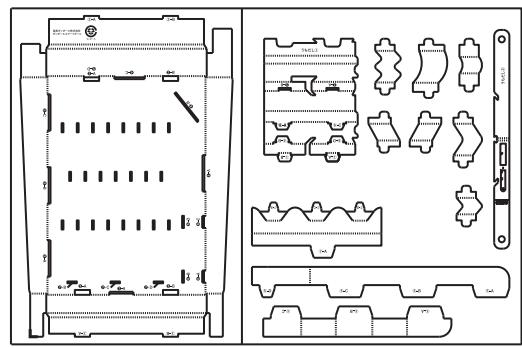
参加者毎に組立説明書を配布することは想定していません。

インストラクター役は組立説明書、組立説明動画から、組み立ての手順やコツをマスターした上でワークショップに臨んでください。

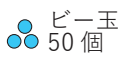
特に間違えやすい工程や、子どもの力だけでは困難な工程を□で囲っています。

適宜手助けをし、円滑なワークショップ運営に努めてください。

セット内容



キット
50枚

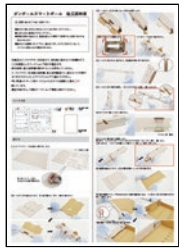


ビー玉
50個



輪ゴム
50本

持ち帰り用袋
50枚

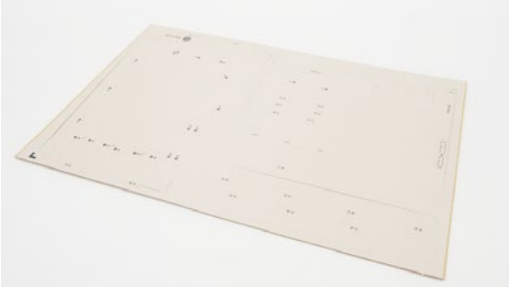


組立説明書
1部

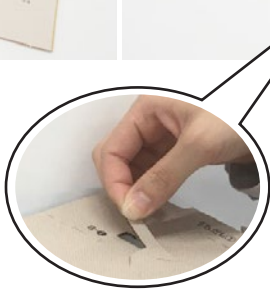
※ビー玉、輪ゴムの色はランダムです。

組立方

【1】すべてのパーツを台紙から取り外します。

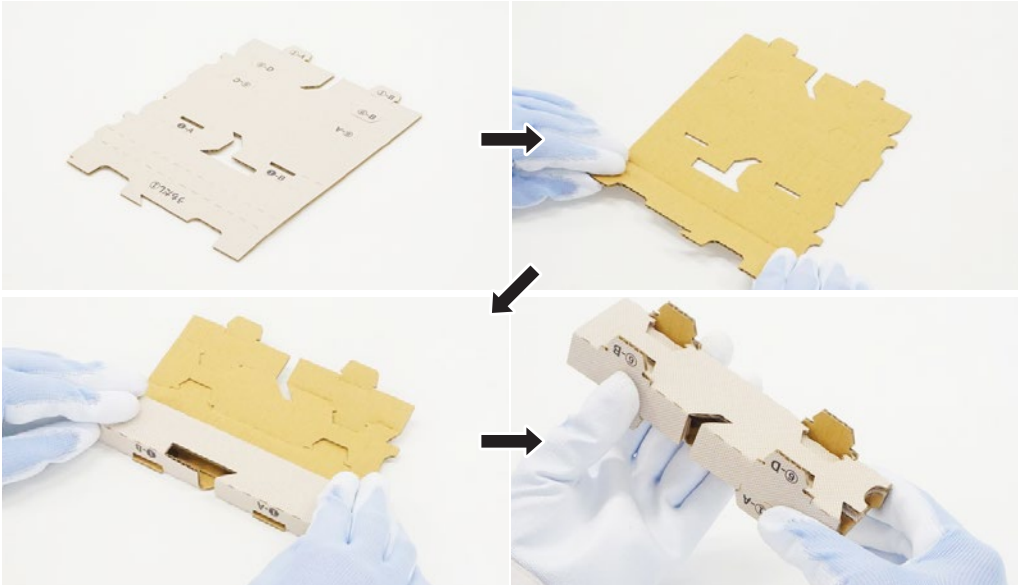


パーツ数は13個



取り外したパーツ内の
小さなカスも取り除きます。

【2】うちだし①を組み立てます。折り曲げ線をよく折り、筒状に巻きます。



【3】ツメ①-Aと①-Bを差し込んで形状を固定します。



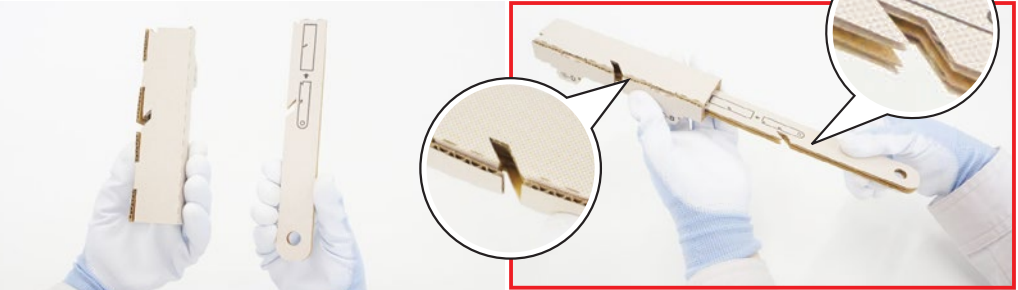
直角になるように調整します。

ツメ⑥-A～Dは折り曲げません。

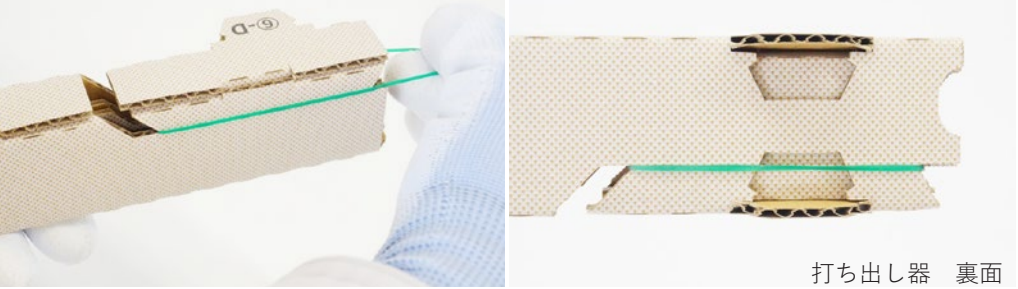
【4】うちだし②を半分に曲げます。折曲線は均等に折り曲げます。



【5】うちだし②の印刷を参照し、切り欠きの向きに注意して差し込みます。

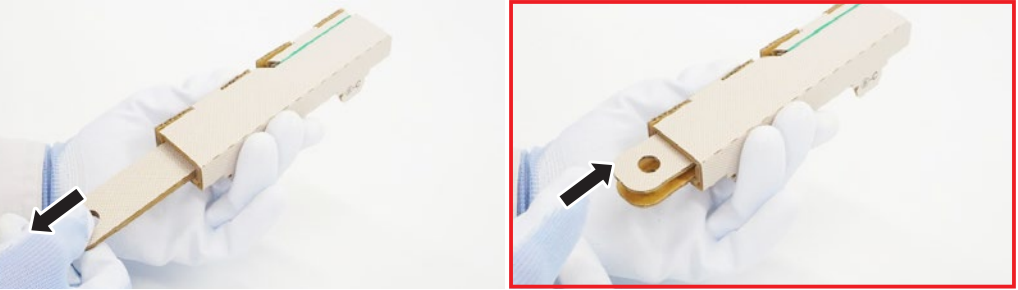


【6】切り欠きに輪ゴムを引っ掛けます。



打ち出し器 裏面

【7】打ち出し器の動きを確認します。
筒を持ち、もう片方の手でうちだし②の丸穴の付近をつまんで引っ張り、離します。
正常であれば、うちだし②は輪ゴムの張力により勢いよく筒内へ戻ります。



【8】盤面を組み立てます。左右の壁を内側へしっかり折り曲げます。

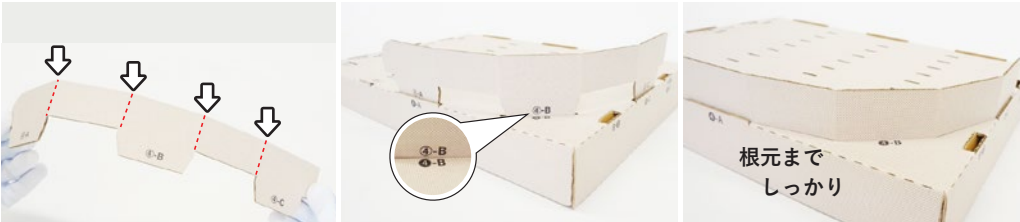


【9】壁の端部のフラップをはさみながら手前の壁を折り込み、ツメ②-Aと②-Bを対応する穴に差し固定します。対面のツメ③-Aと③-Bも同様に折り込み、対応する穴に差し固定します。

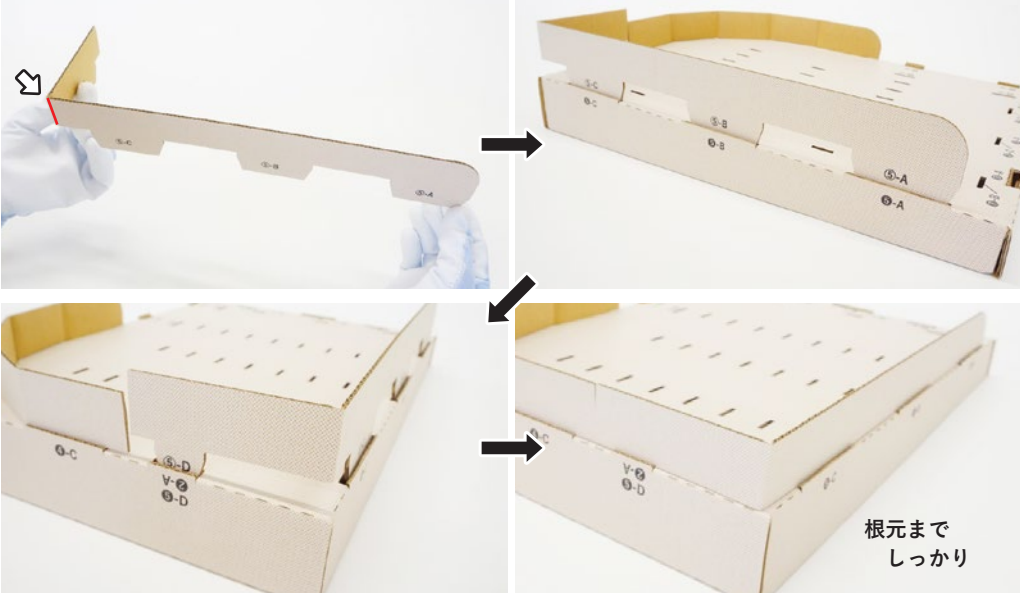


手前の壁が“コ”の字になるよう折り曲げます。

【10】 右レールを軽く折り、突起④-A～Cを盤面に差し込みます。



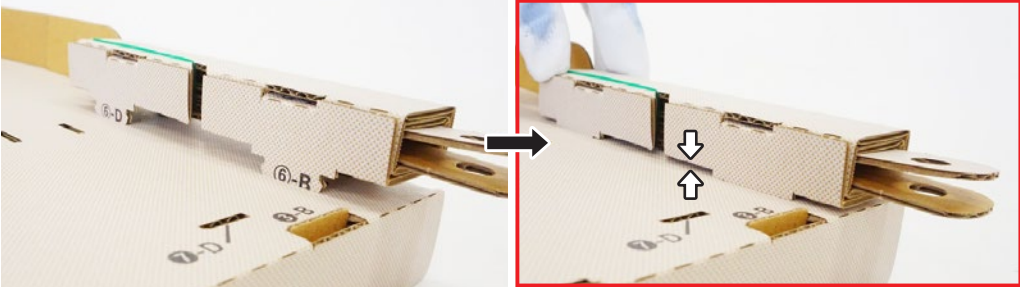
同様に左レールを軽く折り、突起⑤-A～Dを差し込みます。



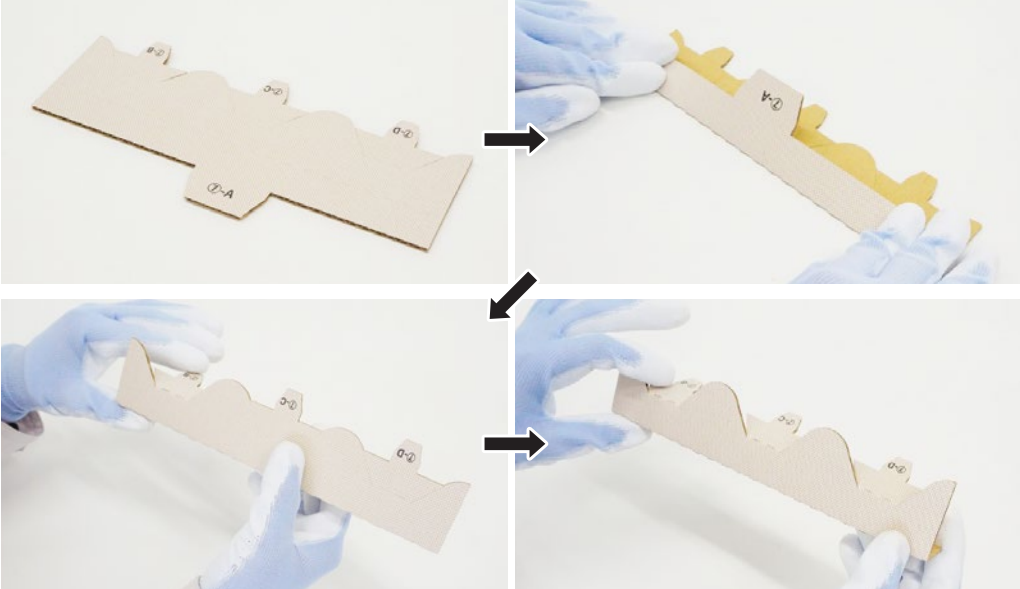
【11】 ツメ⑥-A～Dを盤面に差し込みます。



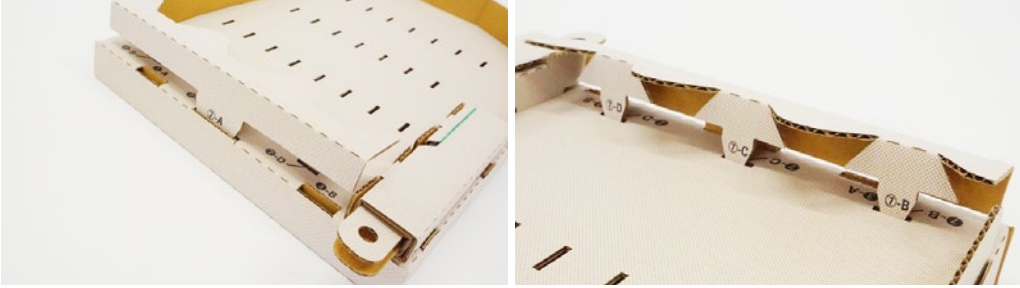
輪ゴムを抑えつけない様、盤面との間に少し隙間が空く構造になっています。



【12】 下部ポケットをしっかり折り曲げます。



【13】 突起⑦-A～Dを盤面に差し込みます。



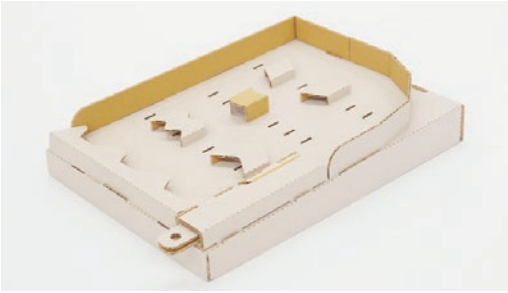
【14】 ビー玉が入り込まないよう、突起の根元まで差し込みます。



【15】 ポケットを“コの字”に折り曲げ、盤面の穴に突起を差し込みます。ポケットの位置は決まっていないので、好きな所に差してください。



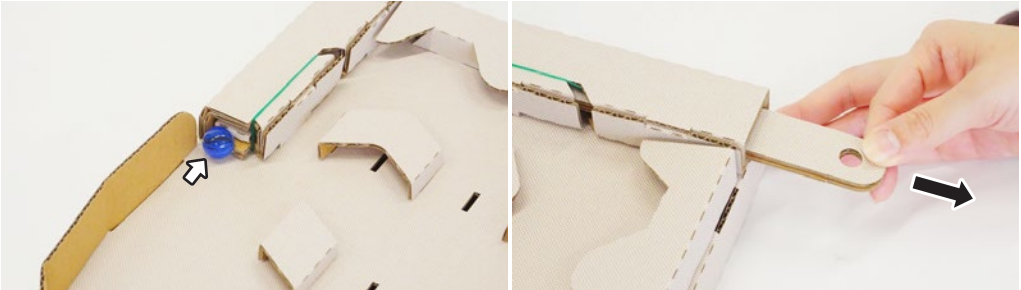
完成



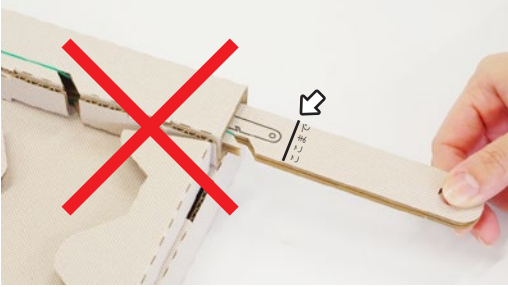
組み立て後は完成品一式を持ち帰るためにビニール袋を配布します。

【遊び方】

本体を机などの平らな台の上に置き、打ち出し器上端のUの字のくぼみにビー玉を入れます。本体が動かないよう左手を下部ポケット付近に添え、右手で打ち出し器を引っ張ります。右手を離すと、輪ゴムの張力によりビー玉が打ち出されます。



「ここまで」の線以上に引っ張らないでください。打ち出し器が壊れる恐れがあります。



動画で見る組立説明書



より円滑に組み立てを行なっていただく為に動画でも組み立て方を公開しております。書面では伝わりづらい箇所もありますので、必ずご覧いただきますようお願い致します。

<https://youtu.be/G9f9undIUfk>